

タフバインダー 使用量の目安

品名	サイズ	対象	袋	g数	
1:3モルタル	15mm	セメント1袋	1袋	50g	
1:2モルタル	10mmまたは15mm	セメント1袋	1袋	50g	
1:1モルタル	5mmまたは10mm	セメント1袋	1袋	50g	
木造用軽量モルタル	15mm	軽モル1袋(25kg)	1/2袋	25g	
基礎レベラー	5mmまたは10mm	レベラー1袋(25kg)	1/2袋	25g	
<下地調整>					
塗厚 10mm以上	15mm	補修材1袋(25kg)	1/3~1/2袋	17~25g	
塗厚 3mm~10mm	10mmまたは15mm	補修材1袋(25kg)	1/3~1/2袋	17~25g	
塗厚 3mm以下	5mm	補修材1袋(25kg)	1/3~1/2袋	17~25g	
石膏プラスター	10mmまたは15mm	既調合1袋(20kg)	1/2袋	25g	
<仕上材>					
現場調合	しっくい	5mm	消石灰(25kg)	3~4袋	150~200g
既調合	しっくい	5mm	既調合1袋(25kg)	1/3~1/2袋	17~25g
溶剤系 仕上げ材	5mm	1缶(20kg)	1/5~1/3袋	10~17g	
<タイル張付モルタル>					
モザイクタイル	10mmまたは 5mm	セメント2袋+硅砂5号1袋	1袋	50g	
二丁掛けタイル	10mmまたは15mm	セメント2袋+硅砂4号1袋	1袋	50g	
* 張付モルタルの調合は代表例で、既調合製品は1袋に1/2袋が目安です。					

* 上記の添加量はあくまで初めて使用される方々への目安です。
初めて使用される際は必ず事前評価をお願いして下さい。

[タフバインダーの特性]

1. フロー(柔らかさ)が高い場合は良く分散しますので、厚みによって長さを変えて下さい。
2. フローが低い場合は繊維長を1ランク下げて使用すれば分散が確保できます。

* 塗厚によって繊維長が変わりますが(厚い→薄い=15~5)、硬さによっては繊維長を短くして下さい。

* 塗厚が厚い場合でも固練りの場合は、10mmでの使用も考えて下さい。

⇒ 職人さんの好みの柔らかさが違いますので、最初は何種類か試して下さい。

・ 繊維長を短くしても性能に大差はありません。

ちなみに、タフバインダー50gで15mmは500万本、10mmは750万本の繊維数です。

<塗厚と繊維長の関係>

塗厚: 薄い→厚い=繊維長: 短→長

- ・ 古くから繊維の効能(つなぎ効果・ひび割れ防止効果・応力分散効果など)は認知され使用されてきましたが、物性をあげるために添加量を多くしたり、繊維の長さを長くすると「ダマ」が発生し「作業性の阻害」「仕上げ面への繊維の飛び出し」などの問題が起こりやすくなり、添加量を抑えて使用されてきました。
- ・ タフバインダーは繊維単体での分散性の確保に努めた結果、今までの常識を破る「添加量」が可能になり「モルタル」などの諸物性向上に寄与する事が出来るようになりました。
- ・ 上記以外の使用の際は必ずご相談下さい。